

# SSニュース

## —目次—

### ◎品管からの連絡事項

- ・2023年度 船用品整備技術講習会等の開催予定…………… 1
- ・「技術者証」及び「資格者証」の有効期限の統一について…………… 2
- ・「IMO Resolution MSC471(101) 衛星利用非常用位置指示装置 (EPIRB)」の改正  
性能基準について…………… 3
- ・2022年度 整備認定事業場等の巡回調査指導における指導事項について…………… 4
- ・膨脹式救命いかだ整備記録等の記載について…………… 7
- ・膨脹式救命いかだ、GMDSS 救命設備の整備記録の提出期限厳守のお願い…………… 8

2023年度船用品整備技術講習会等の開催予定

## 1. 膨脹式救命いかだ整備技術講習会

予定期日	会 場	受講予定者数
10月2日(月) ～7日(土)	東京都 東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館	40名 (計画)

## 2. 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

予定期日	会 場	参加予定者数
7月6日(木) ～7日(金)	いわき市 新舞子ハイツ	3会場合計 90名
11月9日(木) ～10日(金)	神戸市 神戸国際会議場	
11月28日(火) ～29日(水)	高松市 かがわ国際会議場(展示場)	

## 3. 降下式乗込装置整備技術研修会

予定期日	会 場	参加予定者数
8月1日(火) ～2日(水)	広島市 広島県立広島産業会館	藤倉ジグザグ・スパイラル RFDスパイラル 計25名

## 4. GMDSS 救命設備整備技術研修会

予定期日	会 場	参加予定者数
10月19日(木)	東京都 東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館	22名
12月7日(木)	大阪市 新大阪丸ビル別館	21名

## 5. GMDSS 救命設備積付け技術研修会

予定期日	会 場	参加予定者数
10月20日(金)	東京都 東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館	36名
12月8日(金)	大阪市 新大阪丸ビル別館	45名

法定船用品整備事業場  
整備主任者(責任者)各位

「技術者証」及び「資格者証」の有効期限の統一について

法定船用品関連の「技術者証」及び「資格者証」の有効期限に関して、整備技術講習会等実施細目の改正を実施しました。

本改正により、2023年度以降に交付される技術者証、資格者証の有効期限が4年後の年度末までとなります。

対象となる技術者証、資格者証は以下となります。

- ・ 膨脹式救命いかだ整備技術者証
- ・ 降下式乗込装置整備技術者証
- ・ GMDSS 救命設備整備技術者証
- ・ GMDSS 救命設備積付け資格者証

また、すでに交付されている技術者証、資格者証については、記載されている有効期限の年度末となります。例えば、各技術者証、有効期限が2023年6月、10月、11月、12月及び2024年1月までのものは2024年3月31日までと読み替えていただき、その年度末まで有効となります。

※ご不明な点がございましたら、事務局までご連絡下さい。

TEL : 03-3253-6201      FAX : 03-3253-6204

・ 膨脹式救命いかだ及び降下式乗込装置 : 担当 庄司

E-mail : y-shoji@jmqa.or.jp

・ GMDSS 救命設備 : 担当 芦田

E-mail : k-ashida@jmqa.or.jp

法定船用品整備事業場  
整備主任者(責任者)各位

**「IMO Resolution MSC471(101) 衛星利用非常用位置指示無線標識装置  
(EPIRB)」の改正性能基準について**

衛星利用非常用位置指示無線標識装置 (EPIRB) の改正性能基準 IMO Resolution MSC471 (101) が 2019 年 6 月 14 日に採択され、国内では、2024 年 1 月 1 日以降に搭載する EPIRB は、この改正性能基準に合致し、型式承認を取得した機種のみとなります。

改正性能基準の主な変更 (追加) 点と型式承認状況を下記に示します。

記

1. 改正性能基準の主な変更 (追加) 点

- (1) Global Navigation Satellite System(GNSS)からの位置情報の受信
- (2) Automatic Identification System(AIS)信号 (位置情報) の送信

2. 型式承認状況 (2023 年 4 月 1 日現在)

型式 : Tron 60AIS (ノルウェーJotron 社製)

なお、新しい情報を入手次第、ご連絡いたします。

以上

担当 一般社団法人 日本船舶品質管理協会  
指導技師 庄司 (救命いかだ・降下式乗込装置)  
指導技師 芦田 (GMD S S 救命設備)  
TEL 03(3253)6201  
FAX 03(3253)6204

◎品管からの連絡事項

2023年4月

法定船用品整備事業場

事業場責任者（責任者）各位

**2022年度 整備認定事業場等の巡回調査指導における指導事項について**

「2022年度 整備認定事業場等の巡回調査指導」において、複数の事業場に別添と  
おり改善を行うよう指導しましたので、事業場を管理していく上での参考にしてください。

以上

担当 一般社団法人 日本船舶品質管理協会  
指導技師 庄司（救命いかだ・降下式乗込装置）  
指導技師 芦田（GMDSS 救命設備）  
TEL 03(3253)6201  
FAX 03(3253)6204

## 1. 膨脹式救命いかだ整備認定事業場

### ① 掲示物について

(2022 年度版 膨脹式救命いかだ整備技術指導書 IV 認定事業場の業務管理

#### 5.作業の管理 (1)作業標準 参照)

各製造者が定めた整備規程に基づき「作業標準」を作成し、その手順を作業場内の見易い場所に掲示する、又は、印刷物としてファイルブックなどに収め手元に置き、作業中いつでも閲覧できるようにすることと定めております。しかしながら、「作業標準」を掲示物としておりながら文字が小さいものや、掲示物が傷んで見難いものがありました。

### 推奨の対策

掲示物の手直し作業は大変です。技術者を含め作業者が整備作業中いつでも確認し易いよう「作業標準」を印刷物とし、ファイルブックなどに収め、手元に置けるようにすることを推奨いたします。

### ② 法令図書について

(2022 年度版 膨脹式救命いかだ整備技術指導書 IV 認定事業場の業務管理

#### 6.書類の管理)

法令関係は常に最新版が閲覧できるよう定められております。

### 推奨の対策

法令改正の時期等整備事業場で把握することは難しく、また、法令図書はその都度頻繁に出るものではありません。従って、最新の法令確認にはインターネット (e-Gov 法令検索) の利用をお勧めします。

## 2. GMDSS 救命設備整備事業場

### ① 設備の維持管理について

保有する設備の精度及び状態を維持するためチェックリストを作成し、定期的にチェックすることが以下に記載されていますが、チェックリストを作成していない事業場が見受けられました。

GMDSS 救命設備整備技術指導書 第1部

F 編 整備事業場の施設等の管理

1.2.2 設備の維持管理

#### 推奨の対策

指導書に記載されている「チェックリストの例」を参考にチェックリストを作成し、定期的にチェックすることで、設備を常に最良の状態を維持することを推奨します。

なお、チェックリストは各事業場が保有する設備や管理方法に従って、管理し易いものを作成していただくことも併せて推奨いたします。

### ② GMDSS サービスステーション証明書及び測定器の校正の期限切れについて

GMDSS サービスステーション証明書は5年ごと、測定器の校正は1年ごととなっていますが、証明書、校正が期限切れになっている事業場が見受けられました。

GMDSS サービスステーション証明書が切れている場合、GMDSS 機器の整備ができません。また、校正が切れている測定器で測定した値は、公式な書類に記載する測定値として使用できませんので注意をお願いします。

#### 推奨の対策

証明書、校正の期限は常に把握し、作業場の見やすいところに掲示する等を実施し、常に期限を認識できるようにすることを推奨いたします。

### ③ 使用済み電池の保管時の注意について

使用済み電池の保管時に、電極にビニールテープを巻く等の処置をしていない事業場が見受けられました。

#### 推奨の対策

使用済みの電池の保管時には、電極の短絡による発火等の予防のため、電極をビニールテープ等で保護してください。

以上

膨脹式救命いかだ整備認定事業場  
整備主任者(責任者)各位

### 膨脹式救命いかだ整備記録等の記載について

○荷重試験について

2012年1月1日以降に製造された救命いかだの荷重試験を実施する場合  
投下用いかだの場合は体重82.5kg以上の人で行ってください。整備記録の荷重欄が  
82.5kgとなります。

進水装置用いかだの場合も1人当たり82.5kgで計算をしてください。

2011年12月31日以前に製造された救命いかだについては、1人当たり75kgのままです。

これは救命いかだの技術要件に使用される1人当たりの体重が75kgから82.5kgに変更されたためです。

○整備物件管理システム入力について

荷重試験の荷重欄 2012年1月製造の救命いかだから試験荷重が82.5kgとなりますが、システム上の荷重欄は小数点以下を入力することができません。このシステムの改修には少なからず費用が掛かるため、当分の間83kgで入力し備考欄に「荷重試験は82.5kgで実施」と入力をお願いします。

○整備物件管理システムへの入力及び膨脹式救命いかだ整備記録総括表への記載について

お願い：日本籍船 船舶番号（現在は1から始まる6桁の番号）の記入  
外国籍船 船舶番号欄にIMO番号（通常9で始まる7桁の番号）の記入  
（信号符字は国籍変更等により変わりますので、IMO番号の記載をお願いします。）

○新造船等新規に搭載された救命いかだについて

協会へ前回の整備記録の照会があった場合回答できないことが多々ありますので、整備物件管理システムへの入力又は協会へ整備記録の送付をお願いいたします。

整備記録記載（システム入力）項目は次の通りお願いします。

- ・いかだ種類（投下 96SOLAS 等）
- ・型式 ・型式承認番号 ・メーカー名 ・製造番号 ・製造年月
- ・整備番号 ・整備年月日(積付年月日)
- ・整備の種類（新規
- ・自動索、もやい綱等の長さ
- ・自動離脱装置各項目
- ・最小航海喫水線からの積付高さ ・積付年月日



◎品管からの連絡事項

2023年4月

法定船用品整備事業場  
整備主任者(責任者)各位

**膨脹式救命いかだ、GMDSS 救命設備の整備記録の提出期限厳守のお願い**

「整備物件管理システム」を利用されていない事業場の皆様には、その月に整備した膨脹式救命いかだ及びGMDSS 救命設備の整備記録を翌月中に品管に提出をお願いしておりますが、提出が遅くなる事業場が見受けられます。

つきましては、整備記録を翌月に必ず品管宛に提出していただくようお願いいたします。提出していただきました整備データは、品管にて「整備物件管理システム」に入力いたします。また、その月に整備物件が無かった場合も「0台」として報告をお願いいたします。

「整備物件管理システム」に入力された整備記録は次回の整備時に必要なものです。整備記録が品管に提出されていない場合、過去の整備データの検索、また、事業場より前回の整備データをお問い合わせいただいた時にデータを送付出来ないなど、支障をきたすことがありますので、整備記録提出期限厳守にご協力をお願いいたします。

以上

担当 一般社団法人 日本船舶品質管理協会  
指導技師 庄司 (救命いかだ・降下式乗込装置)  
指導技師 芦田 (GMDSS 救命設備)  
TEL 03(3253)6201  
FAX 03(3253)6204